

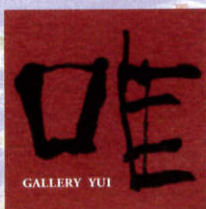
3・11後、4回目の夏を迎えて、厳しい状況の中、
さらにレベルの高い『布クラフト作品』を作り続けている、
岩手沿岸被災地の方たちの展示即売会と、
田野畑村・ハックの家に通うお二人のみずみずしい絵画展を
京都・岡崎のギャラリー唯の全面協力のもと開催させていただきます。
どうか皆さんで「わすれていないよ」の言葉をもちより、お越しください。

2014

東北の 手 画 展 と



画 展 と



2014

9.16 (火) ~ 21 (日)

主催 風の布・パピヨン

入場無料

11:00~18:00 ギャラリー唯

第3回 田野畑・田老・大槌 手業 (てわざ) 展

ハックの家

(田野畑村)

～私たちが目指すもの～ あらゆるしょうがいを持った人たちが、住みなれた街で安心して普通も暮らしができるように支援をして、みなで支えあう街づくりを目指しています。仕事も遊びも住む場所も・・・大好きな街で、自分らしく!! <ハックの家 ホームページより> おおきな被害を受けた村で、いつも元気な拠点として踏ん張ってきたハックの家。ますますおしゃれにレベルアップした大評判の裂き織り作品(花咲き織り)やおいしいクッキーや漬物も並びます。



ゆいとり工房

(田老町仮設団地)

高さ10mのあの世界的にも名が知れた防潮堤を、16mの津波が襲い壊滅した田老町。極寒の避難所で身を寄せ合い始めたチクチクの会。泣きながら笑いながら、お茶っこしながらのこの集いが、やがて丁寧な手仕事が評判になり、今や田老を代表するモノづくりの拠点となりました。高台の復興住宅移転など、これから様変わりしてゆく街でも、たいせつな結(ゆい)として続いてゆくのではないのでしょうか

おおつち おばちゃん くらぶ

(大槌町)

岩手沿岸でも被害が大きかったこの街でも、おばちゃんたちは針と糸を持ち踏ん張り続けてきました。街で一番の復活したショッピングモール<マスト>に店舗兼アトリエを確保し、地元産のクラフト作品も紹介販売しています。日本テキスタイル協会(TDA)の粘り強い支援のもと、鮭をテーマにしたShake Hand Project 作品や、評判の布草履などが並びます。



第2回 ハックの家 秋田夕美 松家圭輔 絵画展

ハックの家に通う二人の絵画は、昨年の法然院展でも好評を博しました。最新作も加えて展示いたします。使用される額は、二人の出身校である久慈拓陽支援学校の中等部の木工班により制作されました。素材は地元の南部赤松です。

秋田夕美

(1976年7月7日生まれ)

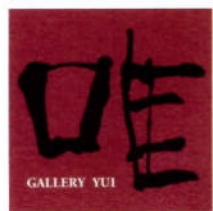
入所当初は黒ばかりを使って絵を描いていたが、いつからか他の色も使うようになってゆく。個性的な裂き織り作品も目を見張るものがあります。時折集中して描く花火などの絵画は、濃密な色彩、ダイナミックな筆致で、見る者を圧倒していきます。



松家圭輔

(1988年8月30日生まれ。)

入所後の仕事は「ハックるパン」にて製造販売。その合間に絵を描いていたが、法然院展後は絵画制作に没頭。従来の三陸鉄道や海の絵から、最近はパンや裂き織りなどより身近なものをテーマに描き始めている。どの作品も透明でキラキラとした光の粒子があふれるような色彩に満ちている。



日 時: 2014.9.16 (火) ~ 21 (日)
11:00 ~ 18:00

場 所: ギャラリー唯
606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町9-1
グランドヒルズ岡崎神宮道102 075-752-0348

主 催: 風の布・パピヨン
共 催: ギャラリー唯

連絡・お問い合わせ先・風の布・パピヨン (斎藤)
phone・fax 075-762-0500 ケータイ・090-6674-8082
dye.kazafu@gmail.com blog.canpan.info/shamurie/

